

地域医療支援病院

小田原市立病院

Odawara Municipal Hospital

広報誌

No.18

2024



②③ 放射線診断科・放射線治療科

④⑤ 新任医師紹介

⑥ 看護部長就任のごあいさつ

⑦ 小田原市立病院からのお知らせ

⑧ 連携施設紹介

放射線診断科・放射線治療科

4月から放射線科は放射線診断科と放射線治療科になりました

当院の放射線部門は、昭和33年の開設以来、放射線科の診療科として診断や治療を行っていましたが、患者さんにより分かりやすく診療のご案内をするため、4月から放射線診断科と放射線治療科の2診療科の標榜になりました。

専門分化することで、この地域の放射線診断・放射線治療の向上に努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

放射線診断科

放射線診断科では、院内の各診療科や院外の医療機関からの依頼で、X線一般撮影、CT、MRI、PET/CTその他の核医学検査など各種画像検査の実施と検査報告書の作成を行っています。放射線診断科の業務には当科医師、診療放射線技師のほか、看護師、事務などの各職種が関わります。放射線診断は体を切らずに体内の様子を診断できるのが特徴です。

CT検査

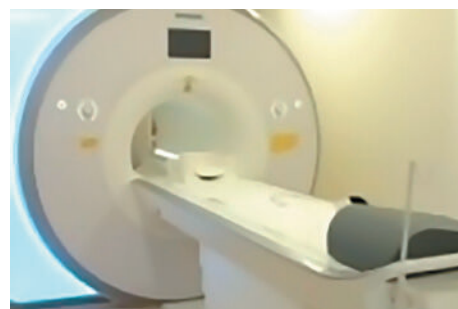
X線を利用して人体の断層像を撮影する検査です。比較的短時間で検査ができます。

256列 CT では従来と比較して低被ばく、かつ高精細な画像を描出が可能です。またDual-Energy撮影機能も搭載されており、腎機能の悪い方などへの造影剤量の低減や、体内の物質密度画像の描出なども可能です。



MRI検査

磁力と電波を使って人体の断層像を撮影する検査です。放射線被ばくはありません。検査中は工事現場のような大きな音がします。CTと比べて検査時間は長くなりますが、CTとは異なる情報を得ることができます。脳、脊椎、四肢、子宮、卵巣、前立腺などの病変の描出に優れています。また造影剤を使用しなくても血管や胆管・膵管の描出が可能です。



PET/CT検査

PETとは「陽電子放射断層撮影(Positron Emission Tomography)」のことです。がんに集まりやすいFDGという薬剤を注射して、薬剤から体外へ放出される放射線を検出して分析し、同時に撮像するCTと合わせて体内での分布を画像化することによって、主にがんの診断に役立っています。



骨塩定量検査(DEXA法)

X線を用いた骨密度検査を行っています。

これらの検査は、当院の医師または院外の医療機関からの依頼で行います。

診療案内

診療には紹介状とともに「事前予約」が必要です。必ず予約をお取りくださるようお願いいたします。なお、予約については、医療機関からのFAX予約や患者さんからの電話予約は受け付けておりません。医療機関からの電話予約をお願いします。

TEL 0465-34-3175 (代表)



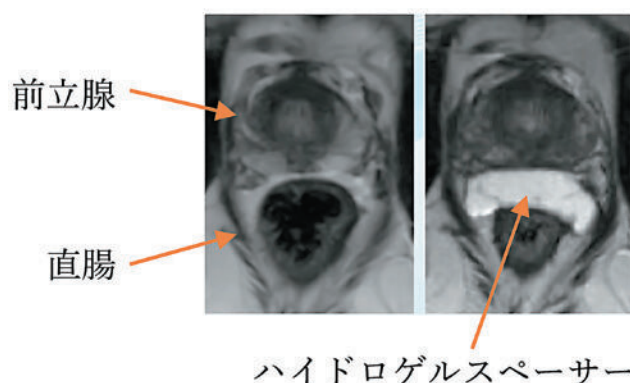
QRコードはこちらから!▲

放射線治療科

放射線治療科では、患者様にがんの根治や症状の緩和を目的として、全身のあらゆる部位の固形がんを対象に放射線治療を行っております。放射線治療は体にメスを入れないで行う治療なので、体への負担が少なく、高齢者の方にも有効な治療法です。当院では、誘導放射線治療(IGRT)および呼吸移動対策が可能となり、治療部位の位置精度が向上したことによって、副作用の軽減と治療効果の安定化を実感しています。また、今後、上記放射線治療に付加価値を更に高める工夫もしていきます。

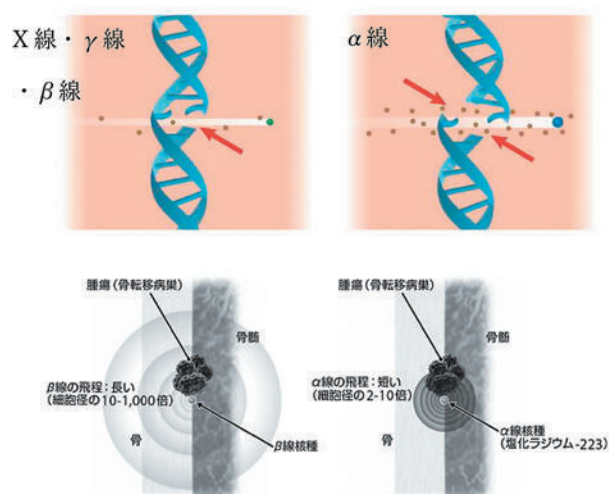
ハイドロゲルスパーサー

前立腺癌の放射線治療では、前立腺と直腸は近接しているため(図左)、前立腺に十分な放射線量を投与すると、直腸の被ばく線量も多くなってしまいます。前立腺と直腸の間にハイドロゲルというゼリー状の物質で間隔を開け(図右)、直腸の被ばく線量が減り、副作用も減らすことができます。ハイドロゲルは放射線治療後、自然に吸収され消失します。泌尿器科医の協力のもとで行っています。



アルファ線(α線)

ホルモン治療が効かなくなった前立腺癌が、骨に転移し痛みをきたすことがあります。そのような場合に、α線という放射線を出す注射薬を複数回投与することによって、症状の改善のみならず、延命効果も期待できるという報告があり、当院でも泌尿器科医と協力のもとで行っています。内用療法や核医学治療と呼ばれ、外来での治療が可能です。



乳癌術後への寡(少)分割照射

乳癌は増殖が遅いタイプのものが多く、そのような癌には一回にあてる放射線治療線量を少し多めにして、治療回数を減らすことが有効とされています。乳癌は比較的若い女性が罹患され、働きながら治療を受けている方も多くいらっしゃいます。この治療法を用いると、従来5~6週間もかかっていた治療期間が3~4週間に減ります。忙しい方の治療期間を短縮して負担を軽減し、効果・副作用の変わらない治療が可能になりました。

新任医師紹介

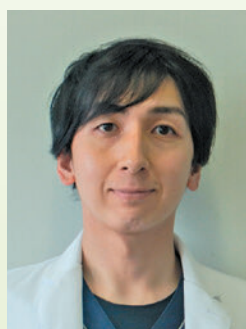
新しく赴任された医師の紹介になります。みなさま、よろしくお願いします。



整形外科
病院長補佐 上杉 昌章



腎臓内科
科長 副田 圭祐



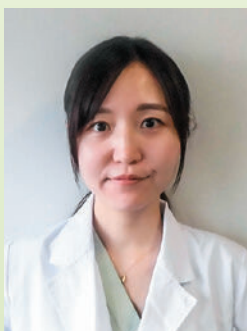
糖尿病内分泌内科
医師 山崎 貴浩



心身医療科
担当部長 石橋 由梨



脳神経内科
科長 小菅 将太



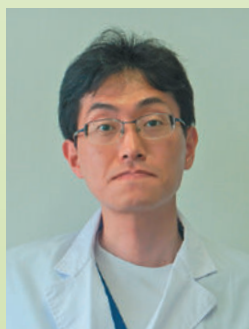
呼吸器内科
医師 神崎 満美子



呼吸器内科
医師 近藤 智香



消化器内科
医師 岩崎 俊斗



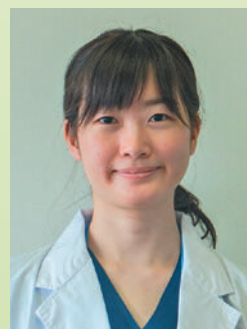
循環器内科
医師 小澤 樹央



小児科
医師 星 颯太



小児科
医師 原口 翔太郎



小児科
医師 白土 牧子



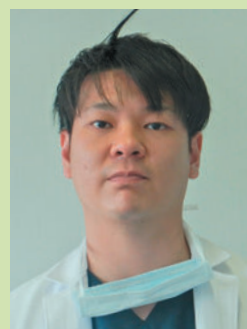
外科
医長 粕川 宗太郎



外科
医師 野本 義長



外科
医師 仲 祐太郎



整形外科
医師 北野 航大



整形外科
医師 須藤 いい那



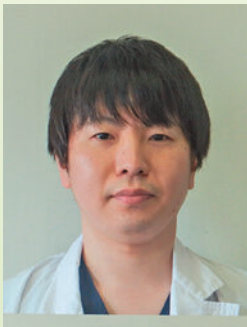
整形外科
医師 池田 俊太郎



脳神経外科
医師 鴨川 美咲



脳神経外科
医師 宮崎 雄也



泌尿器科
医師 山本 章太郎



産婦人科
科部長 丸山 康世



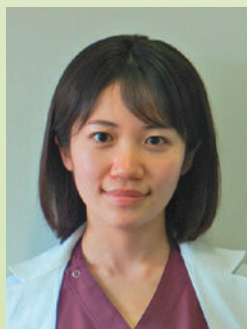
産婦人科
担当部長 榎本 紀美子



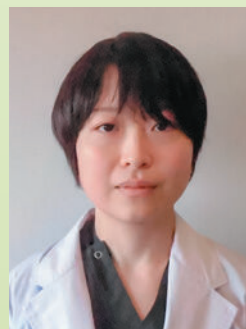
産婦人科
医長 梶山 涼子



産婦人科
医師 高山 純佳



産婦人科
医師 近藤 晴花



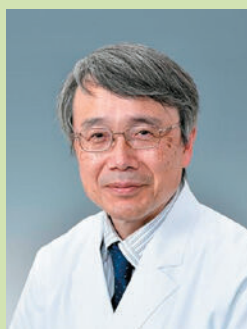
産婦人科
医師 堀越 玲



耳鼻咽喉科・頭頸部外科
医師 井島 貴宏



放射線診断科
医師 舟久保 勲希



病理診断科
主任部長 横瀬 智之



救急科
医師 坂下 晃大



麻酔科
医長 時任 剛志

看護部長就任のごあいさつ



令和6年4月1日付で看護部長に就任いたしました、福山麻衣子と申します。現在まで長きにわたり昭和大学病院で勤務し、急性期医療に携わってきました。小田原市立病院の歴史を大切にしながらも世の中の水準を意識した体制作り、さらには新しいことにチャレンジをしていきたいと思っております。またこれからは小田原市立病院の一員として、地域住民の皆さんから信頼され、愛される看護部を目指していく所存です。

当看護部ではこの4月に32人の新人職員を迎え、看護師410名・助産師37名・看護補助員58名となりました。新人職員のほとんどが小田原市に縁があり、地域に貢献できる看護師になろうと張り切っています。また2年後の新病院開院に向け、新しい医療機器や看護用品、白衣の選定が行われており、看護職員一同はモチベーションをあげています。2年後には今年の新人が一人前の看護を提供する人材になれるよう、大切に育成していきますので、どうぞ見守っていただければと思います。

県西地域は多分に漏れず超高齢社会であり、高齢者世帯さらにはひとり暮らしの方も多くなっています。当院においても複数の慢性疾患を抱えた高齢の患者さんが多くを占めています。看護部では、そのような方々が早期に急性期病院からより適した環境で治療や療養、日常生活を送ることができるよう、地域の医療施設、在宅医療・看護、介護施設等と関係性を深め、地域医療連携を推進していきます。また患者さんやご家族が安心して医療を受けられるよう安全を最優先し、さらには丁寧で優しい看護を実践していきます。患者の皆様には患者確認へ参加、ご納得がいくまで質問するなどご自身が主体となって治療を受けられますようご協力をお願いいたします。

これからも皆様のご支援や励ましのお言葉をいただきながら、良い看護を提供できる組織づくりをしていきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

小田原市立病院からのお知らせ

入院費用の連帯保証人代行制度を導入しました

今まで当院に患者さんが入院する際には、入院費用にかかる連帯保証人を選定していただく必要がありました。連帯保証人には入院患者さんとは別世帯で、かつ支払い能力を有する人という条件があり、その選定には時間を要し、負担も大きいものでした。また、近年は身寄りのない高齢者や外国人を含む観光客の救急搬送など、連帯保証人を選定すること自体が極めて困難な患者さんも多くおりました。

そのような状況の中、患者サービスの向上を図るため、当院では6月1日から連帯保証人を事業者が代行する「連帯保証人代行制度」を導入しました。

代行事業者名： 株式会社イントラスト

対 象： 全入院患者

保 証 期 間： 入院日から退院日まで

保 証 範 囲： 入院費用の患者さん負担分（個室料、食費等も含む）

個 人 情 報 等： 当制度導入により、手数料など患者さんの入院費用が増えることはありません。患者さんの個人情報につきましては、当院が事業者へ代位弁済を請求する時に、事業者が必要とする情報のみを提供します。当院が代位弁済を請求する時というのは、入院費用の分納を誓約とおりに履行していただけない場合などです。ついては、請求が出た時点でお支払いいただける患者さん、分納を誓約とおりに履行していただける患者さんの個人情報が代行事業者にわたることは一切ありませんのでご安心ください。

問い合わせ：医事課 0465-34-3175

市民公開講座

当院では、「市民公開講座」を開催しています。当院の医師が、医療のことをわかりやすく解説いたします。

演 題

慢性便秘症の治療について
消化器内科 桑田千歳

演 題

脂肪肝と言われたら
消化器内科 河村晴信

日 時 2024年7月21日（日） 10:00～12:00

会場① おだわら市民交流センターUMECO 会議室1～3（当日先着順）

会場② Zoom（申込先着順・7月18日（木）までに右記QRコード又は、ホームページの応募フォームよりお申込みください。）



QRでの
申込は
こちら



小澤 優樹
院長

当診療所は、「地域に優しい医療」を目指し、常に患者さんの立場に立つ地元のかかりつけ医として、また初診から通院できない方にも訪問診療を行い、患者さん一人一人と向き合い、最初から最後まで責任を持って診療することを心がけています。

診療科目は、内科、循環器内科、呼吸器内科、小児科で、循環器専門医である院長は、小田原市の健康課題である高血圧や虚血性心疾患、不整脈、最近増加している心不全を、呼吸器専門医である副院長は、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、睡眠時無呼吸症候群、さらに国立相模原病院での勤務を活かしてアレルギー疾患に力を入れて診療しています。

小田原市立病院には、我々が対応できない検査や治療、または緊急に対応しないといけない患者さんをお

願いしており、いつも丁寧な対応や報告をしていただき大変助かっています。

これからも、当診療所は病診連携、診診連携をしっかり構築していき、地域医療に少しでも貢献していくことができればと思っています。



住 所：小田原市蓮正寺310
電話番号：0465-36-3230

診療時間：
9:00~12:00 15:30~17:30
(土曜午後13:30~16:00)

休 診 日：木曜・日曜・祝日

窪倉医院 (内科・小児科・糖尿病内科)



窪倉 俊隆
院長

当院は大正8年に当時の足柄村に開院以来100有余年にわたり祖父の代から地域医療を行っております。当院外観の特徴として小田原建築100選に選ばれた特徴的な玄関ポーチのある洋風建築です。(船越英一郎さん主演のテレビロケでも使用されたことがあります。)

診療科目は内科、小児科、糖尿病内科です。糖尿病患者様のため20年前より日本糖尿病協会「扇町会」を設け患者教育と支援を行っております。新型コロナウイルス感染症の流行前までは「窪倉医院ニコニコ健康教室」という名前で毎月2回、医師、管理栄養士、薬剤師によるミニ医療講演と太極拳教室を寺町公民館で開催しておりました。(大変好評でしたが感染症予防の立場から現在では中断しています。) 小田原市立病院とは病院開設時から関係が深く、父の代からお世話になっております。最

も近い総合病院ですので内科外科を含め多数の専門領域で紹介させていただき迅速な対応にはいつも感謝しております。今後もよろしくお願いいたします。



住 所：小田原市扇町1-12-18
電話番号：0465-34-6335

診療時間：
月、木、金曜日 午前9時~12時 午後2時~5時30分
火、土曜日 午前9時~12時 午後2時~5時
※診療受付時間は終了前30分前まで

休 診 日：水、日曜日、祝日